

ヤングケアラーについてのアンケート調査結果

(北海道ユースプランナー制度プロジェクトチーム)

1 概要

北海道ユースプランナーに「ヤングケアラー」についてアンケートを行い、若い世代の意識を調査するとともに、道の施策に係るアイデアを募集した。

2 対象

北海道ユースプランナー(登録者 73 名)

3 実施期間

令和 4 年 (2022 年) 8 月 9 日～8 月 26 日

4 実施方法

北海道電子自治体共同システムの簡易申請機能を活用し、ユースプランナーが同システムのアンケートフォームから回答した。

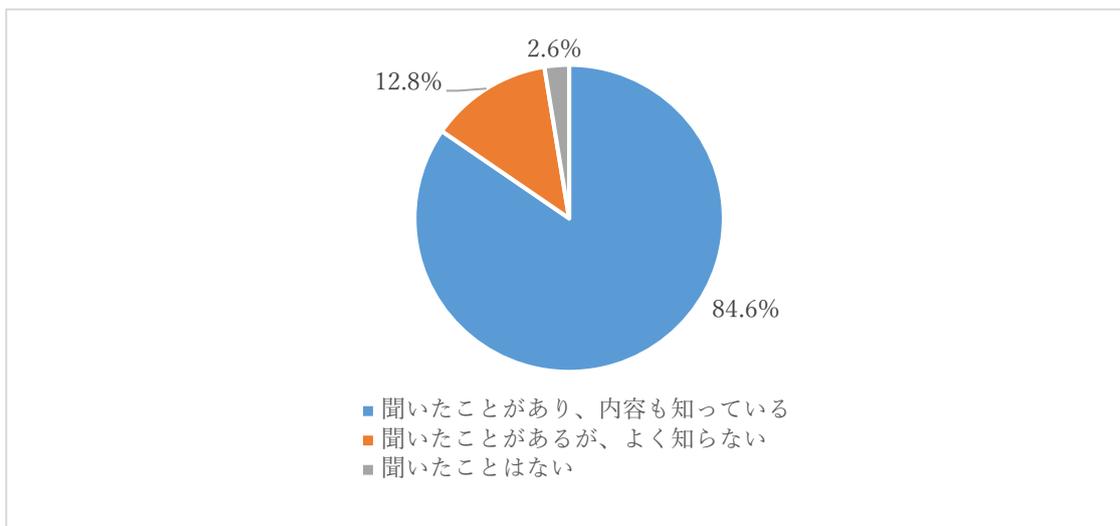
5 回答率

登録者(周知数)73 名 回答者 39 名 回答率 53.4%

問1 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。

・84.6%のユースプランナーが「聞いたことがあります、内容も知っている」と答えています

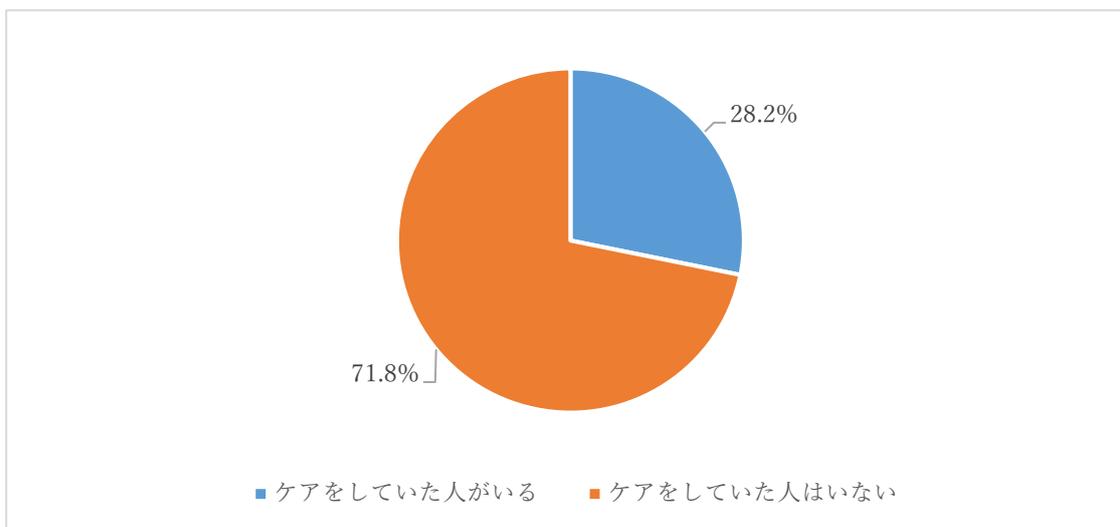
- | | |
|-------------------------|------------|
| (1) 聞いたことがあります、内容も知っている | 33人(84.6%) |
| (2) 聞いたことがあるが、よく知らない | 5人(12.8%) |
| (3) 聞いたことはない | 1人(2.6%) |



問2 あなたの周囲(友人・知人)で、これまで家族やきょうだいなどのケアを行っていた方はいますか。

・これまで周囲にヤングケアラーの可能性のある方がいると回答した割合は28.2%でした。改めて、ヤングケアラーは身近な問題であることがうかがわれます。

- | | |
|------------------|------------|
| (1) ケアをしていた人がいる | 11人(28.2%) |
| (2) ケアをしていた人はいない | 28人(71.8%) |



問3 ケアをしている人はどのようなことで、悩んだり、困っていると思いますか（複数回答）

・「自分のために使える時間が少ないこと」の割合が最も高く、82.1%ですが、「家庭の経済状況」や「学校の費用」も8割に近く、時間とお金に困り感を抱えているのではという意見が多数でした。

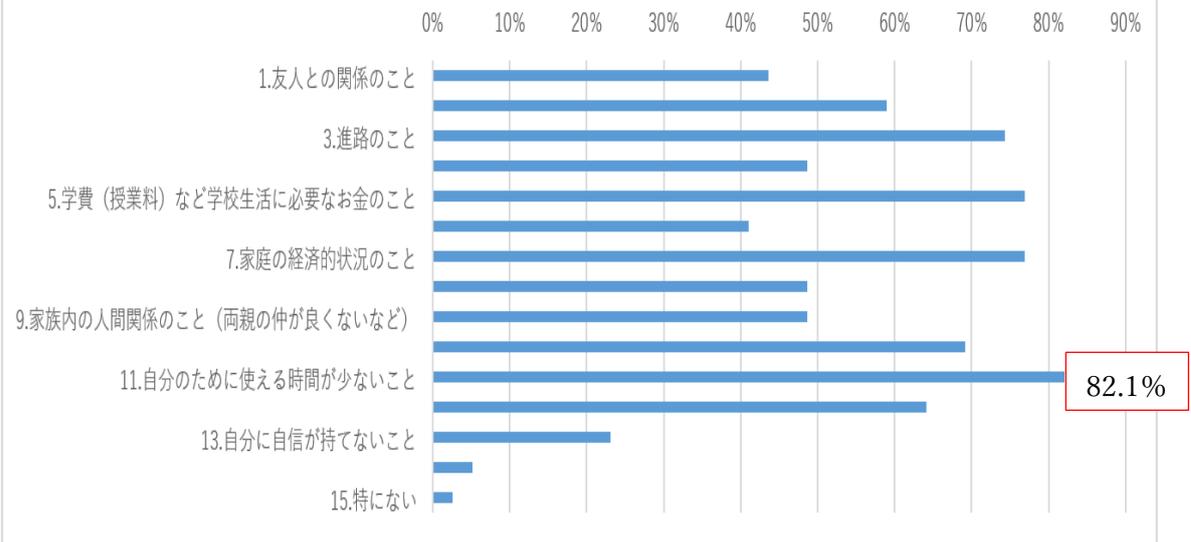
(1)友人との関係のこと	17人(43.6%)
(2)学業成績のこと	23人(59.0%)
(3)進路のこと	29人(74.4%)
(4)部活動のこと	19人(48.7%)
(5)学費(授業料)など学校生活に必要なお金のこと	30人(76.9%)
(6)塾(通信教育やオンライン授業を含む)や習い事ができないこと	16人(41.0%)
(7)家庭の経済状況のこと	30人(76.9%)
(8)自分と家族の関係のこと	19人(48.7%)
(9)家庭内の人間関係のこと(両親の仲が良くないなど)	19人(48.7%)
(10)病気や障がいのある家族のこと	27人(69.2%)
(11)自分のために使える時間が少ないこと	32人(82.1%)
(12)自分が自由に過ごせる時間がないこと	25人(64.1%)
(13)自分に自信が持てないこと	9人(23.1%)
(14)その他(自由記載)	2人(5.1%)
(15)特になし	1人(2.6%)

※その他の回答

全部だとは思いますが、これ全てを1人にやるのではなく、その子にとっては余計なこともあると思うので、1人1人にあった寄り添ったことが必要だと思います。

バイトと部活、学業の両立が難しく、ストレスが溜まり、精神状態が不安定になってしまっていること

ケアをしている人はどのようなことで、悩んだり、困っていると思うか



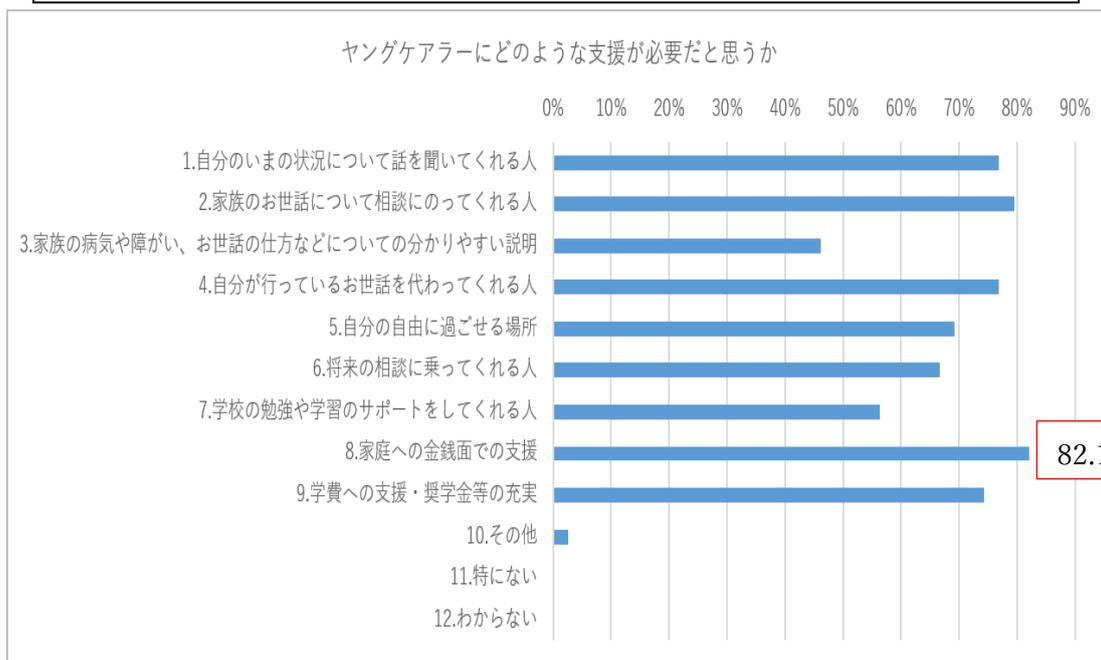
問4 あなたは、ヤングケアラーにどのような支援が必要だと思いますか（複数回答）

・最も多かったのが「家庭への金銭面での支援」で82.1%、次いで「相談に乗ってくれる人」が79.5%、「話を聞いてくれる人」、「お世話を代わってくれる人」が76.9%でした。相談支援のほか、経済的な支援など直接的な支援が必要との意見も多くありました。

(1) 自分のいまの状況について話を聞いてくれる人	30人(76.9%)
(2) 家族のお世話について相談に乗ってくれる人	31人(79.5%)
(3) 家族の病気や障がい、お世話の仕方についてのわかりやすい説明	18人(46.2%)
(4) 自分が行っているお世話を代わってくれる人	30人(76.9%)
(5) 自分の自由に過ごせる場所	27人(69.2%)
(6) 将来の相談に乗ってくれる人	26人(66.7%)
(7) 学校の勉強や学習のサポートをしてくれる人	22人(56.4%)
(8) 家庭への金銭面での支援	32人(82.1%)
(9) 学費への支援・奨学金等の充実	29人(74.4%)
(10) その他(自由記載)	1人(2.6%)
(11) 特にない	0人(0%)
(12) わからない	0人(0%)

※その他の回答

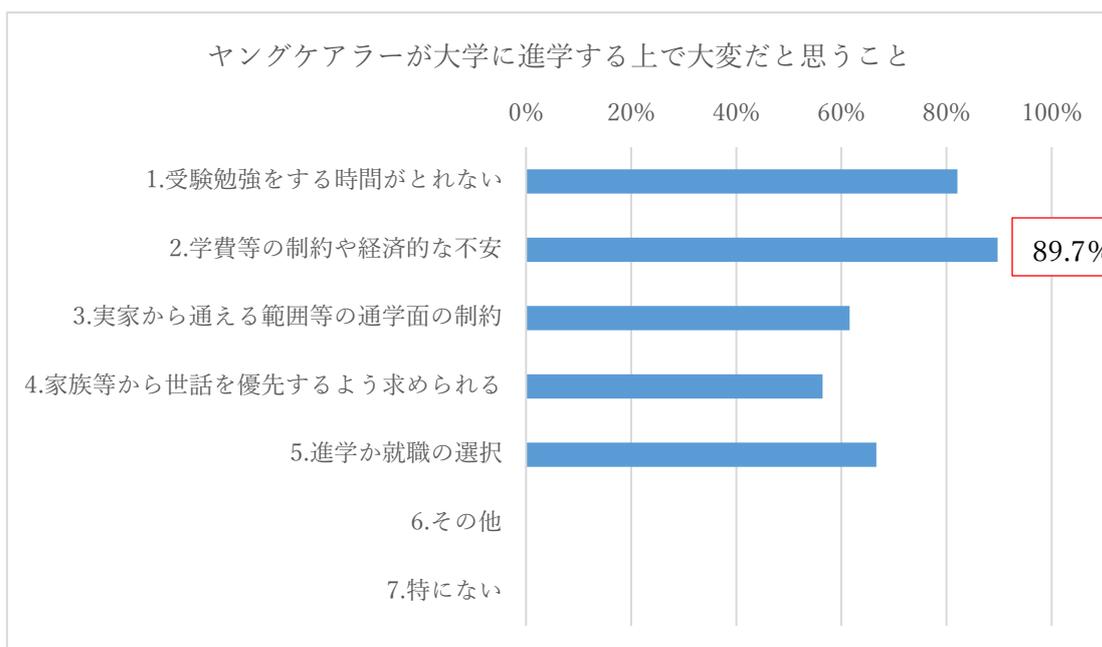
全部だとは思いますが、これ全てを1人にやるのではなく、その子にとっては余計なこともあると思うので、1人1人にあった寄り添ったことが必要だと思います。



問5 ヤングケアラーが大学に進学する上で大変だと思うこと（想像すること）は何ですか（複数回答）

・「学費等の制約や経済的な不安」と回答した割合が最も高く89.7%、次いで「受験勉強をする時間がとれない」が82.1%でした。問3、4の結果のとおり、大学に進学する上でも、自分の時間、経済的な問題が大きいと考えられます。

(1) 受験勉強をする時間がとれない	32人 (82.1%)
(2) 学費等の制約や経済的な不安	35人 (89.7%)
(3) 実家から通える範囲等の通学面での制約	24人 (61.5%)
(4) 家族等から世話を優先するよう求められる	22人 (56.4%)
(5) 進学か就職の選択	26人 (66.7%)
(6) その他	0人 (0%)
(7) 特にない	0人 (0%)



問6 ヤングケアラーを支援していく上で、北海道では令和4年4月に「北海道ケアラー支援条例」を施行、積極的な支援に取り組むため「普及啓発による道民理解の促進」、「ケアラーの早期発見及び相談の場の確保」、「ケアラーを支援するための地域づくり」の3つを基本的施策としています。ヤングケアラー支援をさらに充実させていくために必要だと思うことや取組方法、要望等ありましたらぜひご記載ください。

※自由記載のため、別紙「概要版」及び「全体版」参照